

運用報告書（全体版）

単位型投信／内外／債券

世界金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）2013-01

作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日

第4期（決算日 2015年1月29日）

<受益者のみなさまへ>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「世界金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）2013-01」は、2015年1月29日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券
信託期間	2016年1月29日まで（2013年1月31日設定）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の金融機関が発行する普通社債および期限付劣後債 ^{*1} 等 ^{*2} *1 期限付劣後債とは、償還期限の定めがある劣後債のことをいいます。 *2 上記の普通社債および期限付劣後債等には、政府が保証する債券および政府が出資している発行体が発行する債券を含みます。
運用方法	・世界各国の金融機関が発行する普通社債および期限付劣後債等を主要投資対象とします。 ・信託期間内に、満期償還日または繰上償還の可能日が到来する債券に投資し、債券の償還まで保有することを基本戦略とします。 ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年1月29日および7月29日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 回率	債券組入 率	債券先物 比率	元本 残存率
		税金 込み 分配	期中 騰落	期中 騰落 率				
(設定日) 2013年1月31日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% 100.0	
1期(2013年7月29日)	10,170	50	220	2.2	4.5	94.8	99.4	
2期(2014年1月29日)	10,326	50	206	2.0	4.3	96.6	94.1	
3期(2014年7月29日)	10,382	50	106	1.0	3.6	92.4	89.2	
4期(2015年1月29日)	10,410	50	78	0.8	3.1	94.8	84.9	

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当期の基準価額等の推移

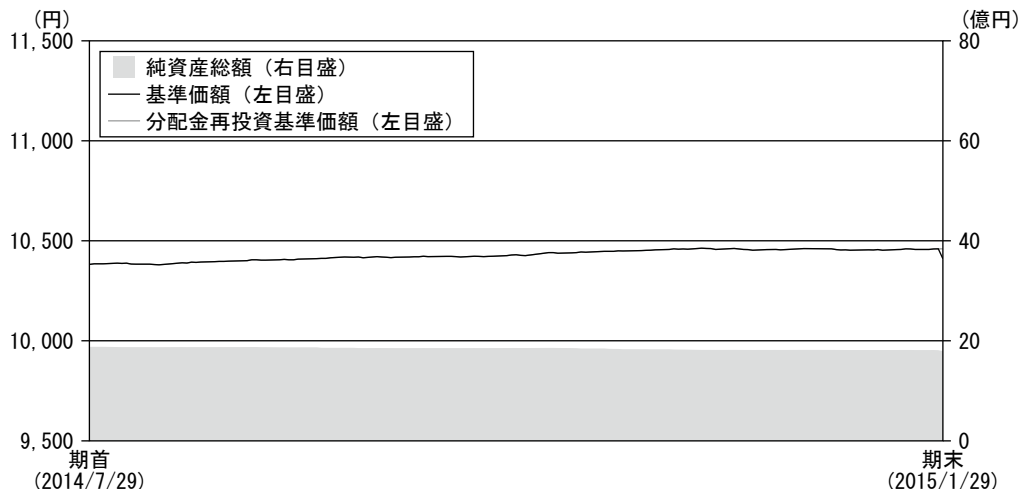
年月日	基準価額	騰落率	債券組入 率	債券先物 比率
7月末	10,385	0.0	95.9	-
8月末	10,399	0.2	95.4	-
9月末	10,419	0.4	95.8	-
10月末	10,426	0.4	90.1	-
11月末	10,455	0.7	98.6	-
12月末	10,461	0.8	94.6	-
(期末) 2015年1月29日	10,460	0.8	94.8	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）



当ファンドの作成対象期間中の騰落率は
プラス0.8%となりました。

期首 : 10,382円
 期末 : 10,410円 (既払分配金50円 (税込み))
 騰落率 : +0.8% (分配金再投資ベース)

(注) 騰落率は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、単位型投信のため、実際には分配金が再投資されませんのでご注意ください。以下、本報告書において同じ。
 ※分配金再投資基準価額は、期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

基準価額の主な変動要因（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）

➤債券要因（債券の利息や価格変動に起因するもの）

世界各国の金融機関が発行する普通社債および期限付劣後債（償還期限の定めがある劣後債をいいます。）等*を主要投資対象としており、保有銘柄の利息収入が得られたことなどが寄与し、基準価額は上昇しました。

*上記の普通社債および期限付劣後債等には、政府が保証する債券および政府が出資している発行体が発行する債券を含みます。

ベンチマークとの差異について（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。
そのため、記載すべき事項はありません。

投資環境について（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）**＞社債市場の動向**

欧米の金融機関の劣後債市場は、中東地域を中心に地政学リスクが強く意識されたことや、アルゼンチン国債の利払い不履行問題などから当作成対象期間は弱含んで始まりまし。売りを巡後は買い戻され、スプレッド（国債利回りとの格差）は縮小しました。

大手格付会社S&Pは2014年9月に銀行劣後債の格付けを一斉に引き上げたものの、格付け手法の見直しによるものであることから市場への影響は限定的となりました。

10月に入ると、国際通貨基金（IMF）による経済見通しの下方修正やエボラ出血熱に関する報道などを受けて金融市場全体が不安定となったものの、欧州の銀行に対して行われたストレステスト（健全性審査）と資産査定の結果がおおむね市場予想通りだったことなどから買い安心感が広がり、欧米の金融機関の劣後債市場は堅調となりました。一方、欧米の金融機関の普通社債への影響は限定的となり、市場は堅調を維持しました。

12月には、休暇シーズンで市場参加者が少なくなるなか、原油価格やロシア・ルーブルの急落、ギリシャの政情不安などから投資家のリスク回避姿勢が強まりました。スプレッドはやや拡大したものの、米連邦公開市場委員会（FOMC）で米国の利上げが経済指標等を考慮しながら慎重に行われることが示唆されたことなどから投資家のセンチメント（市場心理）が改善し、欧米の金融機関の劣後債市場は堅調となりました。

期末にかけては、欧州中央銀行（ECB）が追加の金融緩和策を発表し、低金利の環境下で高い利回りを求める投資家からの需要が強まりました。

欧米の金融機関のクレジット・ファンダメンタルズ（財務状況の基礎的条件）は規制強化の流れを受けて総じて改善傾向にあり、普通社債に関しては投資家心理が悪化した局面では価格が上昇するなど相対的に堅調となりました。

＜金融機関の実質的な破たん処理等に関する国際的な制度導入の動向について＞

金融機関の破たん処理等に関し、株主だけでなく債権者にも損失の負担を求める制度を導入する国・地域が増えています。これらの国・地域においては、金融当局等が実質的に破たんしているとみなした金融機関が発行した劣後債や優先証券、普通社債等についても元本が削減される等の措置がとられる可能性があります。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）

▶当ファンドは、世界各国の金融機関が発行する普通社債および期限付劣後債等を主要投資対象とします。

当ファンドの信託期間内に、満期償還日または繰上償還の可能日が到来する債券に投資し、債券の償還まで保有することを基本戦略としています。

* 保有する債券の繰上償還に対する見直しに変更があった場合、保有する債券のデフォルト・リスクが高まったと判断した場合またはポートフォリオの状況や市場動向等によっては、償還を待たずに途中売却する場合があります。

* 繰上償還とは、債券発行時に定めた条項に基づき、満期前に繰上げて償還できる権利のことをいいます。投資対象とする債券は繰上償還が約束されているものではないため、繰上償還が見送られる場合があります。この場合、基本戦略に基づいた運用ができない場合があります。

ユーロ、英ポンド、米ドルの外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

期末の種別組入比率は、期限付劣後債を61.3%、普通社債35.2%としました。

作成対象期間の運用状況は以下の通りです。

ポートフォリオの特性値

	期首	期末
平均終利（*1）	2.0%	1.6%
平均直利（*2）	4.7%	5.1%
平均残存年数（*3）	0.9年	0.6年
平均格付（*4）	BBB+	BBB+

債券格付別組入比率

格付	期首 比率（%）	期末 比率（%）
AAA	—	—
AA	—	—
A	44.6	47.3
BBB	49.9	49.2
BB	—	—
B	—	—
現金等	5.5	3.5
合計	100.0	100.0

（*1）平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利息または配当収入とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。

（*2）平均直利（直接利回り）とは、利息または配当収入部分にのみ着目した利回りで、証券価格に対する利息または配当収入の割合（年率）をいいます。

（*3）平均残存年数は、繰上償還条項が定められている証券については、次の繰上償還の可能日に償還されるものとして計算しています。

（*4）平均格付とは、基準日時点において当ファンドが保有している証券の信用格付を純資産に対する当該証券の組入比率で加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※比率とは、当ファンドの純資産に対する比率です。

※現金等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※格付は、S&P、Moody's、Fitchの格付のうち、上位の格付をS&Pの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

■ 分配金について

分配については、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、当期の1万口当たり分配金（税込み）は50円とさせていただきます。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

■ 今後の運用方針

引き続き、世界各国の金融機関が発行する普通社債および期限付劣後債等への投資を維持する方針です。
ファンドの信託期間内に、満期償還日または繰上償還の可能日が到来する債券に投資する基本戦略を維持する方針です。
外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 (2014/7/30~2015/1/29)		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	42	0.403	(a) 信託報酬 = 作成対象期間の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は10,424円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.189)	・ 当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.192)	・ 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	・ 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用 = $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	・ 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	43	0.411	

(注1) 作成対象期間において発生した費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注5) 単位未満は0と表示しています。

■ 当期の売買及び取引の状況（2014年7月30日から2015年1月29日まで）

公社債

			買付額	売付額
外		国		
	ア	メリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	社	債 券	1,036	—
	ユ	ー	千ユーロ	千ユーロ
	オ	ランダ		
	社	債 券	—	— (300)
	イ	ギリス		
	社	債 券	—	911 (600)
	ス	イス		
	社	債 券	—	— (400)
	イ	ギリス	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド
	社	債 券	730	—

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

■ 当期の主要な売買銘柄（2014年7月30日から2015年1月29日まで）

公社債

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
ICICI BANK/HK 5% 16/1/15(アメリカ)		122,379	HBOS PLC 4.875% 15/3/20(ユーロ・イギリス)		133,940
GOLDMAN SACHS GP 5.25% 15/12/15(イギリス)		93,550	—		—
MORGAN STANLEY 5.125% 15/11/30(イギリス)		36,891	—		—

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の利害関係人[※]との取引状況等（2014年7月30日から2015年1月29日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区	分	当			期		
		買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公	社	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
	債	252	—	—	133	—	—
為	替	10,079	10,079	100.0	9,938	9,938	100.0
為	替	269	137	50.9	433	301	69.5
	直						
	物						
	取						
	引						

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項	目	当	期
売	買		
委	託		
手	数		
料	総		
額	(A)		—千円
う	ち		
利	害		
関	係		
人	へ		
の	支		
支	払		
額	(B)		—千円
(B) / (A)			—%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

■ 当社による当ファンドの設定・解約状況（2014年7月30日から2015年1月29日まで）

該当ありません。

■ 組入資産の明細

(1) 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入比率	末		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			残 存 期 間 別 組 入 比 率		
						5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
						%	%	%
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 3,100	千アメリカ・ドル 3,187	千円 375,398	% 20.9	% —	% —	% —	% 20.9
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
オ ラ ン ダ	1,700	1,725	229,454	12.8	—	12.8	—	—
イ ギ リ ス	400	403	53,683	3.0	—	3.0	—	—
ス イ ス	1,400	1,421	189,005	10.5	—	10.5	—	—
イ ン ド	900	924	122,917	6.9	—	—	—	6.9
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 4,000	千イギリス・ポンド 4,094	730,659	40.7	14.3	19.2	—	21.5
合 計	—	—	1,701,119	94.8	14.3	45.5	—	49.3

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

区 分	種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	当 期		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ア メ リ カ	社 債 券	AXIS BANK	% 5.25	千アメリカ・ドル 1,000	千アメリカ・ドル 1,024	千円 120,615	2015/9/30
		ICICI BANK/HK	5.0	2,100	2,163	254,783	2016/1/15
小 計			—	—	—	375,398	
ユ ー ロ				千ユーロ	千ユーロ		
オ ラ ン ダ	社 債 券	ING BANK NV	3.5	1,700	1,725	229,454	2020/9/16
イ ギ リ ス	社 債 券	LEGAL & GENL	4.0	400	403	53,683	2025/6/8
ス イ ス	社 債 券	CS GRP FIN (US)	3.625	1,400	1,421	189,005	2020/9/14
イ ン ド	特殊債券(除く金融債)	ST BK INDIA/LON	4.5	900	924	122,917	2015/11/30
小 計			—	—	—	595,060	
イ ギ リ ス	社 債 券	GOLDMAN SACHS GP	5.25	千イギリス・ポンド 500	千イギリス・ポンド 517	92,401	2015/12/15
		HSBC BANK PLC	4.75	1,600	1,624	289,843	2020/9/29
		LLOYDS BANK PLC	6.9625	300	304	54,352	2020/5/29
		MORGAN STANLEY	5.125	200	206	36,851	2015/11/30
		ROYAL BK SCOTLND	9.625	1,400	1,441	257,211	2015/6/22
小 計			—	—	—	730,659	
合 計			—	—	—	1,701,119	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

2015年1月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,701,119	% 92.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	129,202	7.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,830,321	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(1,736,956千円)の投資信託財産総額(1,830,321千円)に対する比率は94.9%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、1月29日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=117.77円、1ユーロ=132.96円、1イギリス・ポンド=178.47円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月29日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	3,515,971,560
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	17,793,241
公 社 債(評価額)	1,701,119,144
未 収 入 金	1,765,768,249
未 収 利 息	30,571,912
前 払 費 用	260,614
そ の 他 未 収 収 益	458,400
(B) 負 債	1,721,799,938
未 払 金	1,692,450,300
未 払 収 益 分 配 金	8,617,157
未 払 解 約 金	13,251,812
未 払 信 託 報 酬	7,440,514
そ の 他 未 払 費 用	40,155
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,794,171,622
元 本	1,723,431,404
次 期 繰 越 損 益 金	70,740,218
(D) 受 益 権 総 口 数	1,723,431,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,410円

(注1) 損益の状況の中で

・ (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

・ (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当ファンドの設定年月日は2013年1月31日、設定元本額は2,027,591,004円、期首元本額は1,810,373,634円および期末における元本残存率は84.9%です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.0410円です。

(注4) 計算期間末における純資産額の元本超過額79,357,375円と費用控除後の配当等収益36,527,430円のうち、多い金額79,357,375円を分配対象金額として8,617,157円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 損益の状況

当期(自2014年7月30日 至2015年1月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	45,260,230
受 取 利 息	44,801,830
そ の 他 収 益 金	458,400
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 508,278
売 買 益	220,051,705
売 買 損	△220,559,983
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	△ 23,670,722
(D) 信 託 報 酬 等	△ 7,593,848
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	13,487,382
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	69,203,682
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,333,689
(H) 計 (E+F+G)	79,357,375
(I) 収 益 分 配 金	△ 8,617,157
次 期 繰 越 損 益 金(H+I)	70,740,218

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第 4 期
1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	50円

■ お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

■ 約款変更について（作成対象期間：2014年7月30日～2015年1月29日）

世界金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）2013-01

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

■ 当ファンドは、信託約款に規定の通り、2016年1月29日をもって信託期間が終了となります。